

For Discussion Purpose Only

デジタル田園都市国家構想における 地域幸福度（Well-Being）指標について

2023年7月27日

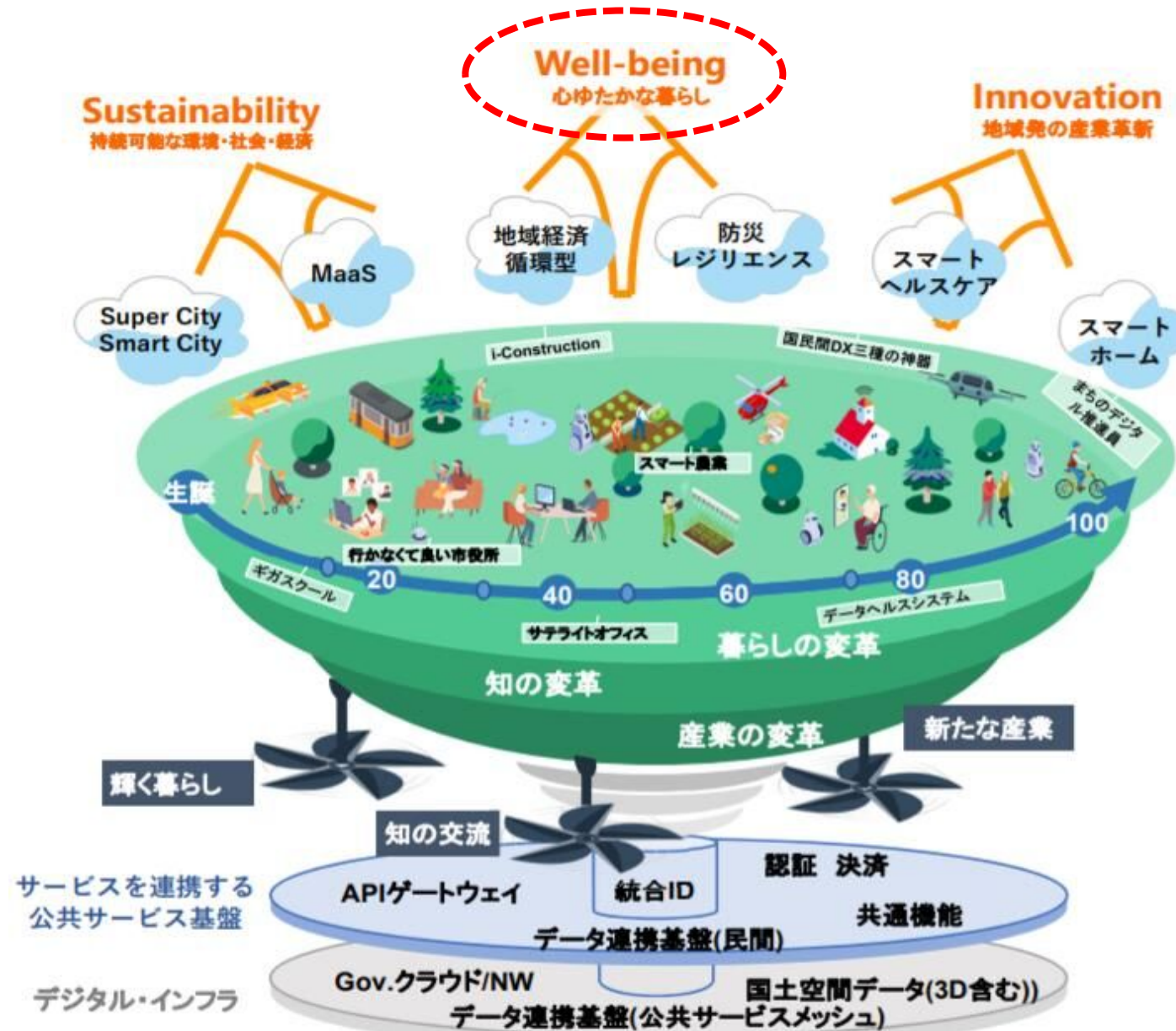
一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 専務理事 南雲岳彦



Smart City
Institute Japan

Well-Being (心の豊かな暮らし) は、デジ田園都市国家構想の3本柱の一つ

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/dai2/siryou2-1.pdf



スマートシティでどのように「市民の幸福感」を高めることができるか？

人・社会のレイヤー



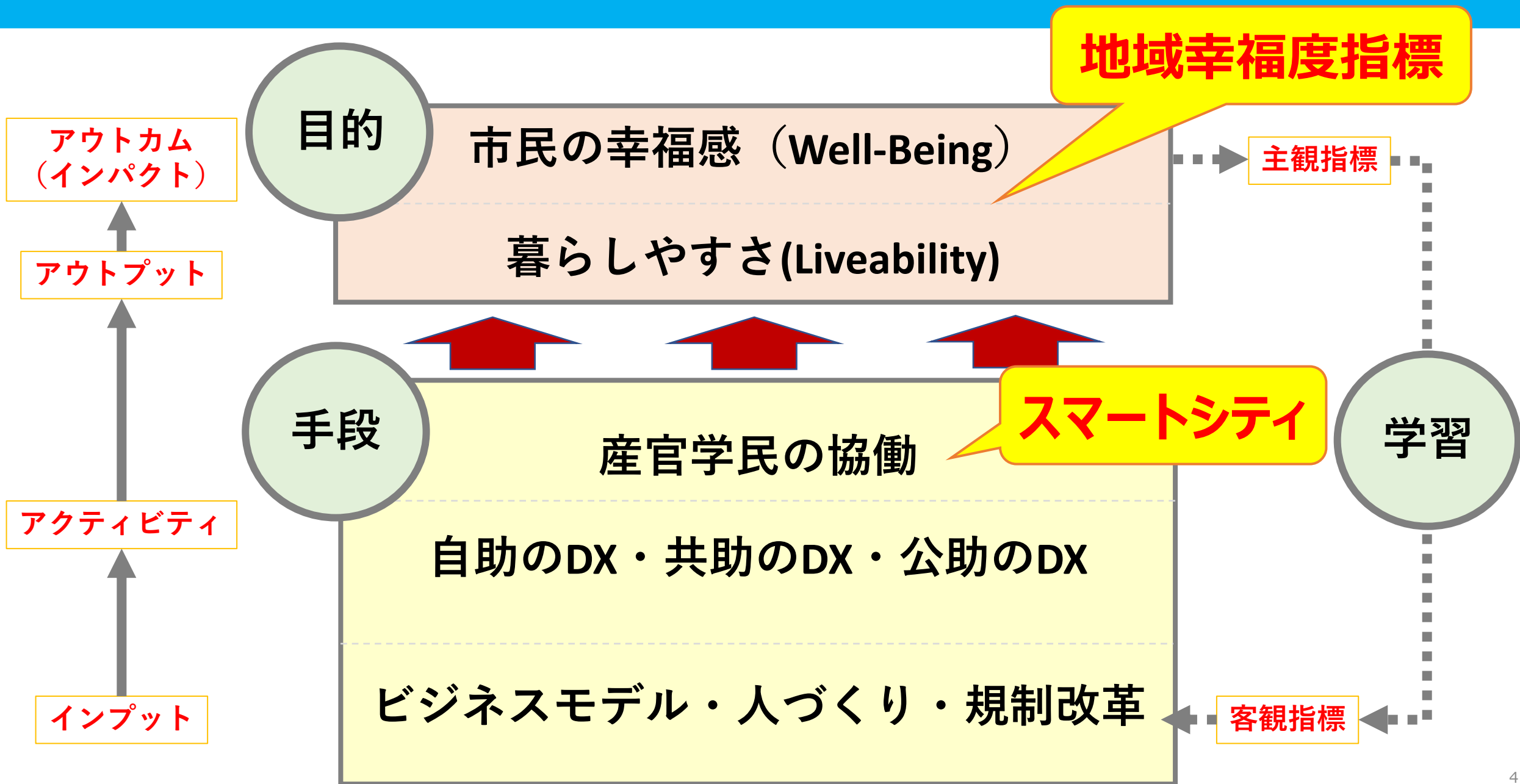
デジタルのレイヤー



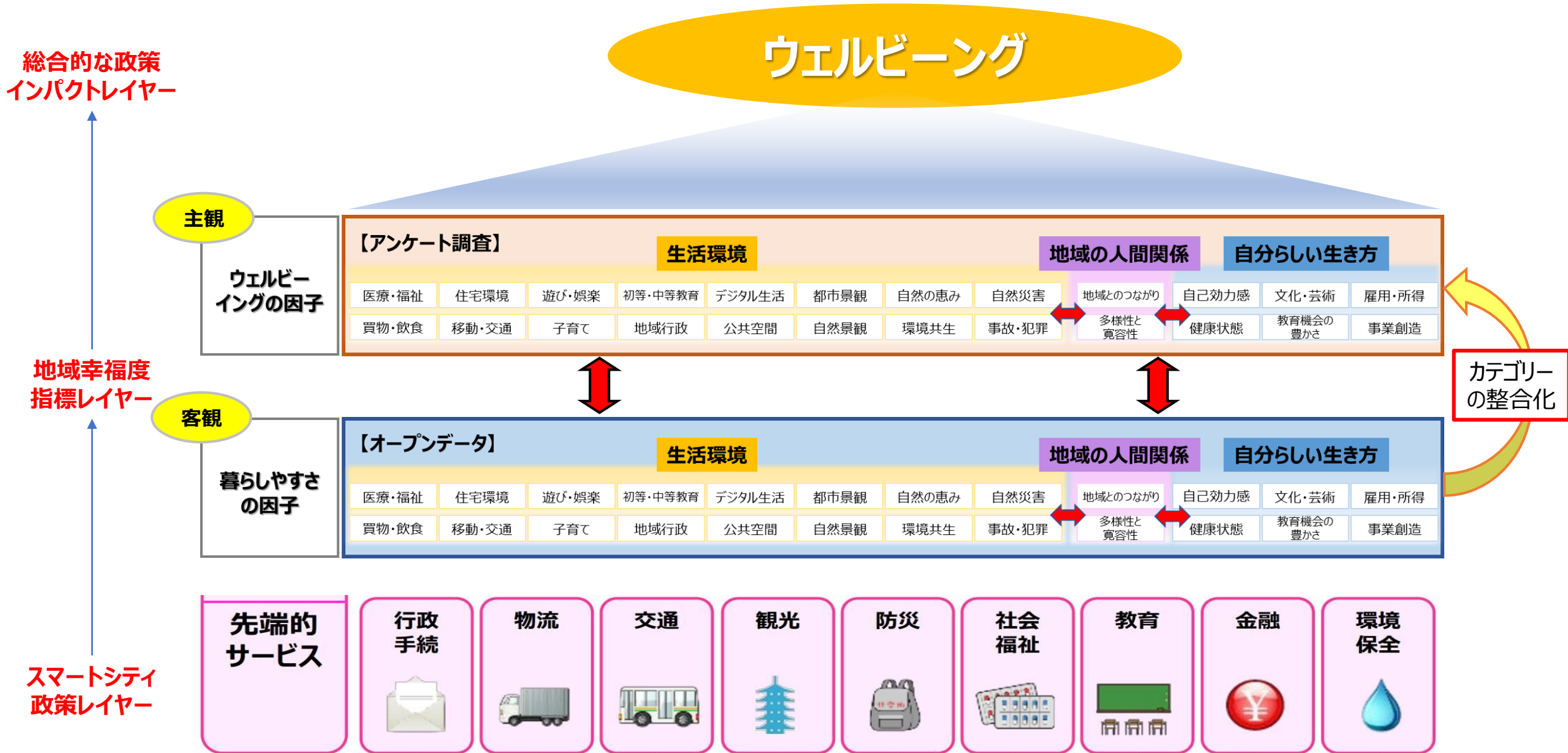
自然資本のレイヤー



地域幸福度指標を活用したスマートシティのロジックモデル



地域幸福度指標モデルの全体構成図 ~ 政策と主観・客観指標の関係



主観的幸福感のアンケートは、慶応大前野教授 + 京大内田教授 + SCIJで構成

総合的な政策
インパクトレイヤー

ウェルビーイング

主観

ウェルビー
イングの因子

【アンケート調査】

生活環境

地域の間人関係

自分らしい生き方

医療・福祉	住宅環境	遊び・娯楽	初等・中等教育	デジタル生活	都市景観	自然の恵み	自然災害	地域とのつながり	自己効力感	文化・芸術	雇用・所得
買物・飲食	移動・交通	子育て	地域行政	公共空間	自然景観	環境共生	事故・犯罪	多様性と寛容性	健康状態	教育機会の豊かさ	事業創造

① 地域生活のWell-being(10因子)

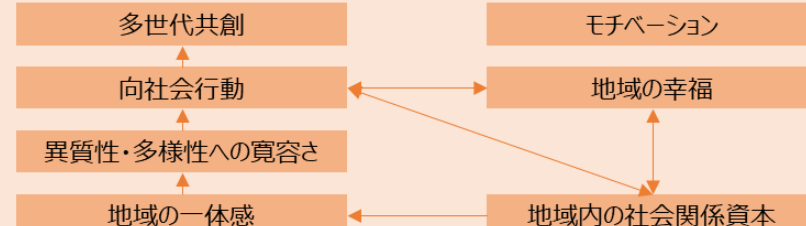
地域における市民の主観的な幸せを測定【個人因子】

ダイナミズムと誇り	自然の体感	過干渉と不寛容
生活の利便性	居住空間の快適さ	健康状態
生活ルールの秩序	つながりと感謝	地域との相性
	地域行政への信頼	

(慶応義塾大学 前野隆司教授らのモデル)

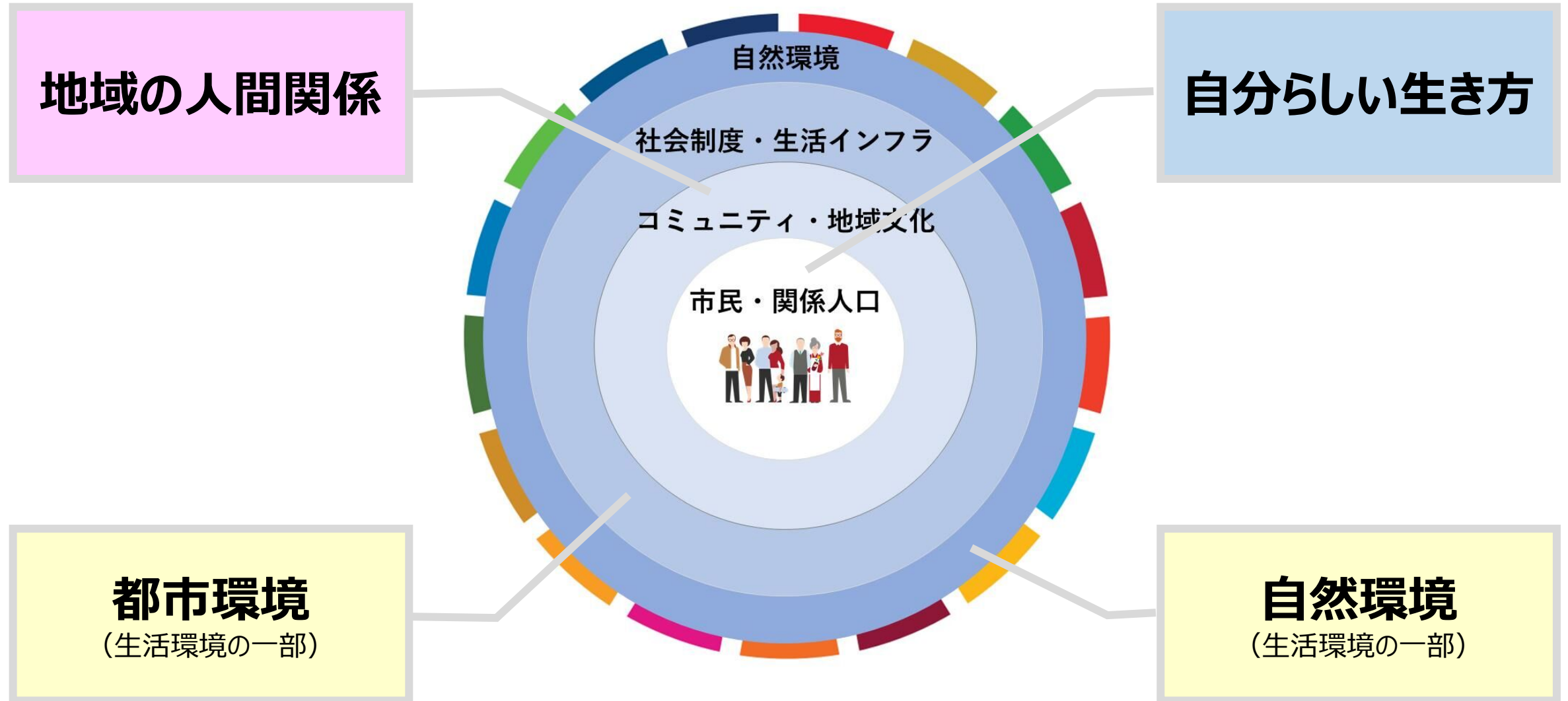
② 協調的幸福(7因子)

「場」や「関係性」に関する地域で循環する幸せを測定【協調因子】



(京都大学 内田由紀子教授らのモデル)

地域幸福度指標では、地域のウェルビーイングを「マルチレベル」で把握していく



地域幸福度指標の概念と導入目的

- スマートティ・まちづくりにおける「人間中心主義」を明確化
- 市民の視点から「暮らしやすさ・幸福感」を数値化・可視化
- ランキングではなく、自治体が「個性を磨く」機会を創出
- WHO等の国際的な枠組みを導入
- 客観と主観データの両方を活用。無料でオープン化
- まちづくりのEBPM・ワイススペンディングに役立てる

SCIJのホームページから地域幸福度（Well-Being）指標ダッシュボードへ



法人概要

エグゼクティブ
アドバイザー

会員一覧

イベント・報告

入会案内
問い合わせ

ENGLISH

会員サイト
ログイン

地域幸福度（Well-Being）指標 （Liveable Well-Being City指標®）

ダッシュボード

データダウンロード

アンケート設問票

🔗 お問合せはこちら



地域幸福度（Well-Being）指標とは



利活用ガイドブック



ダッシュボード



データダウンロード



アンケート設問票



地域幸福度(Well-Being)指標 ダッシュボード (市区町村版)

※閲覧したい項目をクリック

総合(幸福度・満足度)

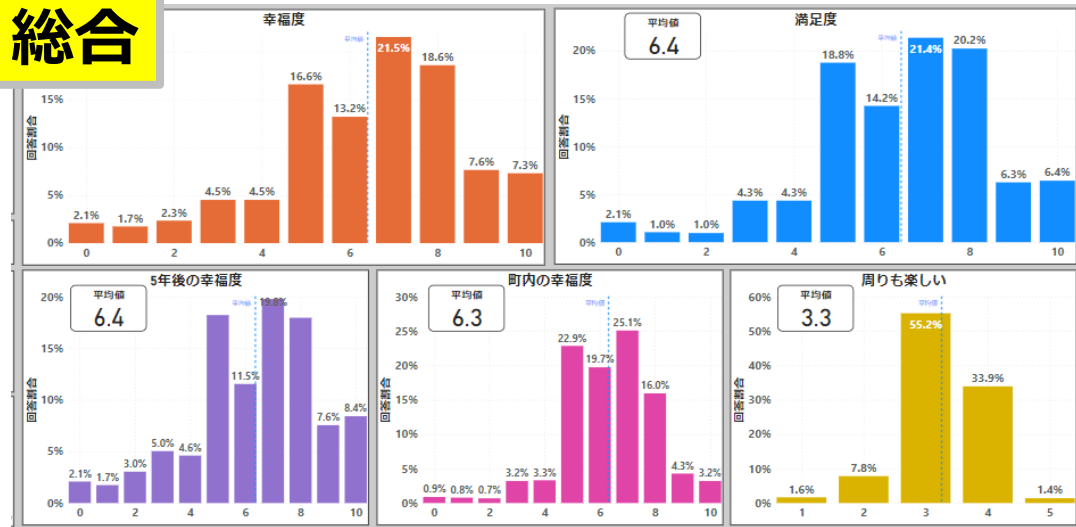
因子別

主観詳細

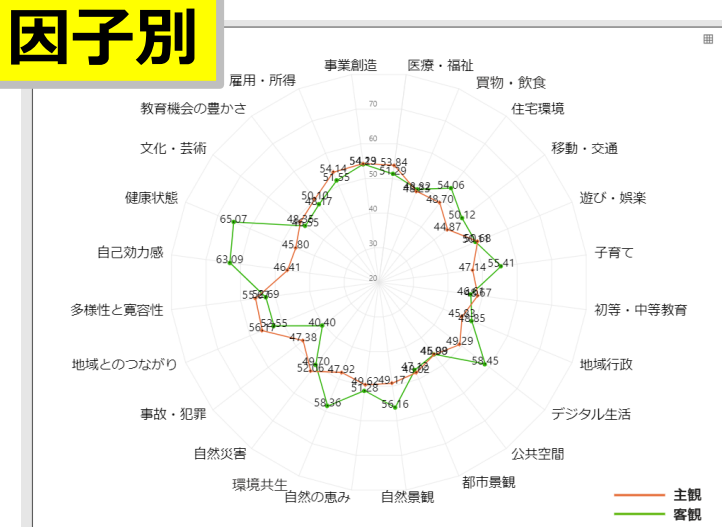
客観詳細

ダッシュボード全体像 ~ 4つの画面が用意されている

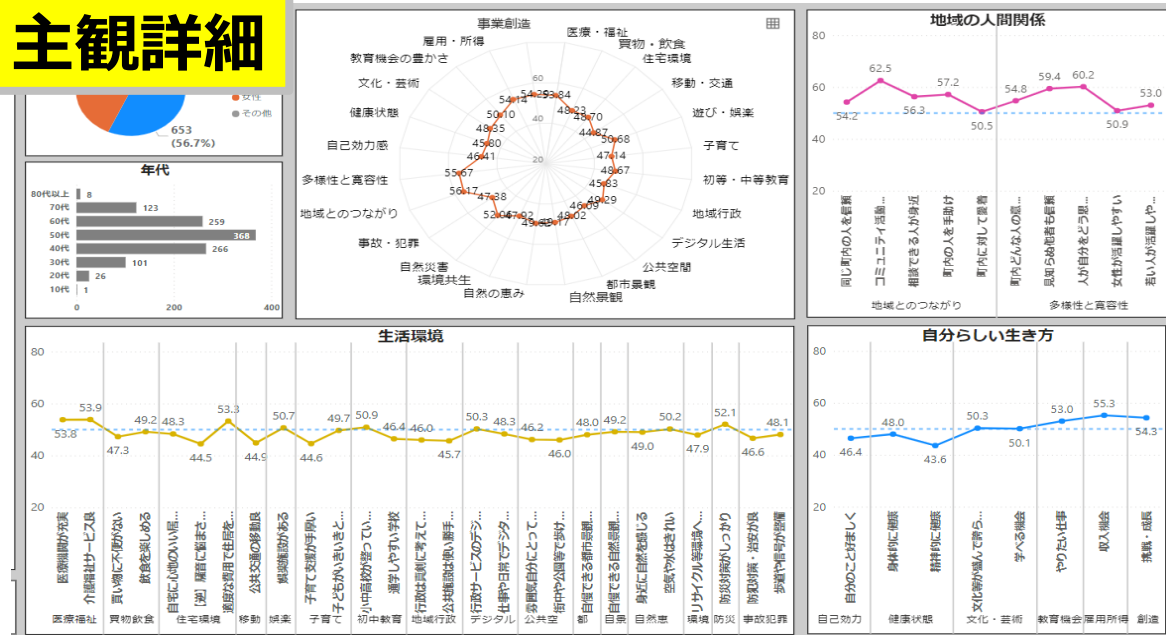
総合



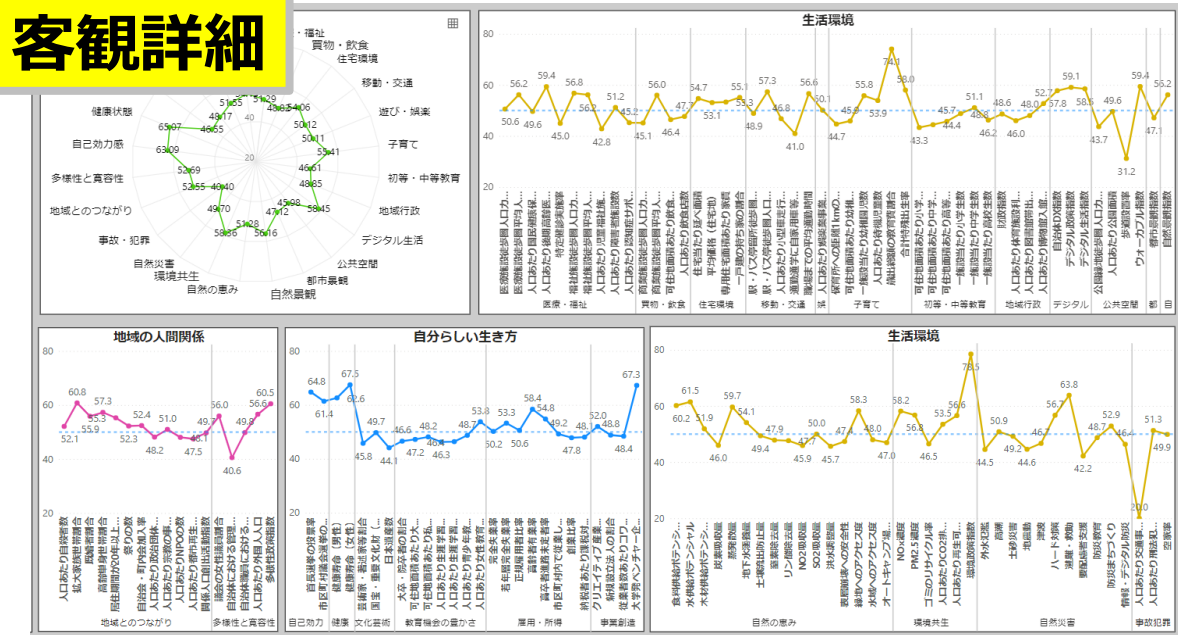
因子別



主観詳細

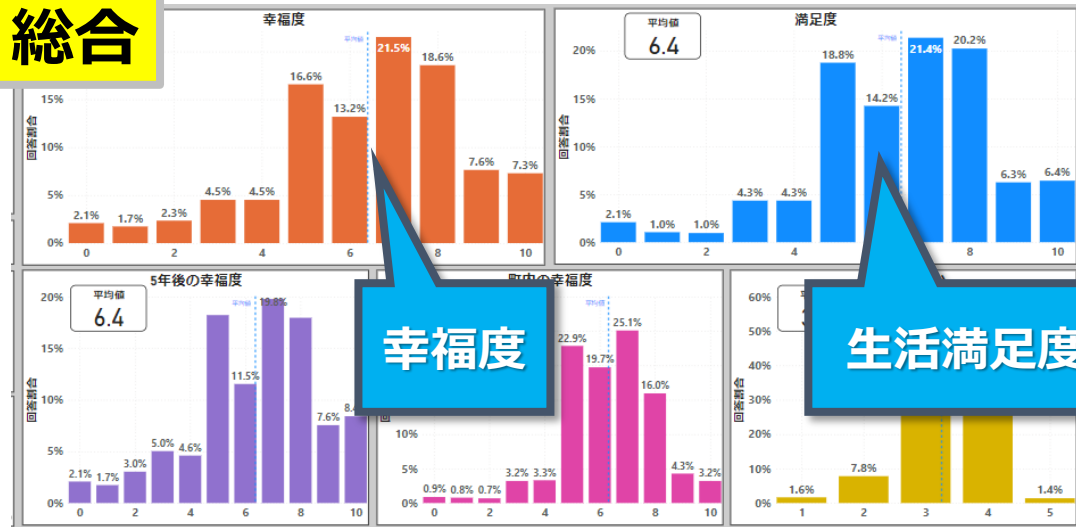


客観詳細

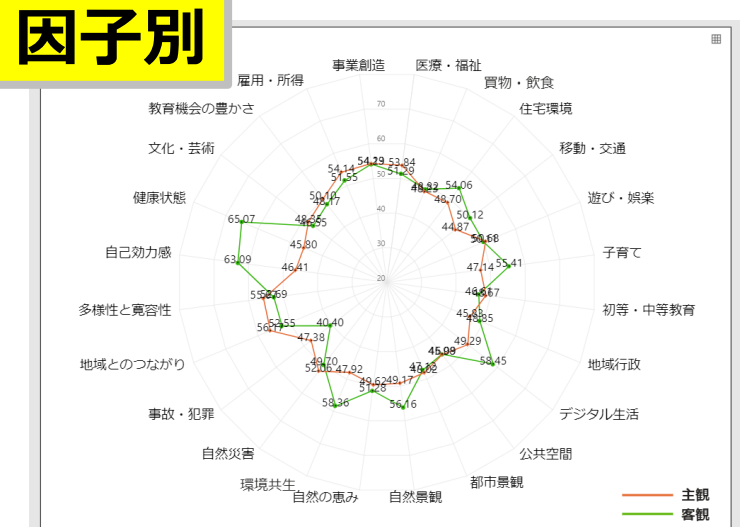


ダッシュボード全体像 ~ 4つの画面が用意されている

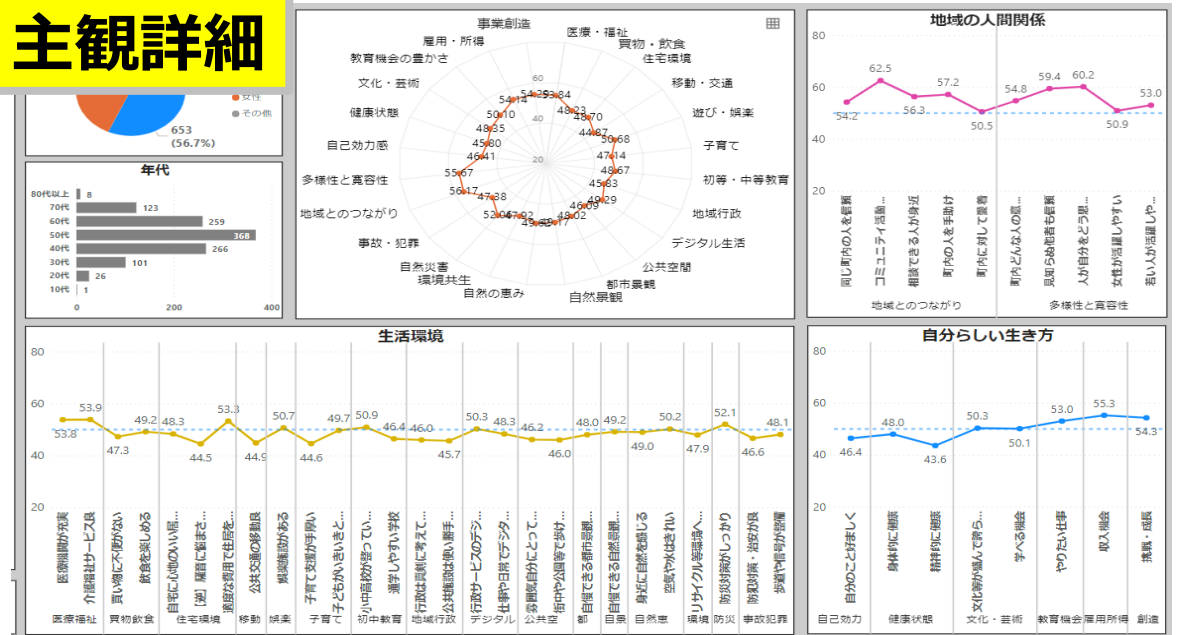
総合



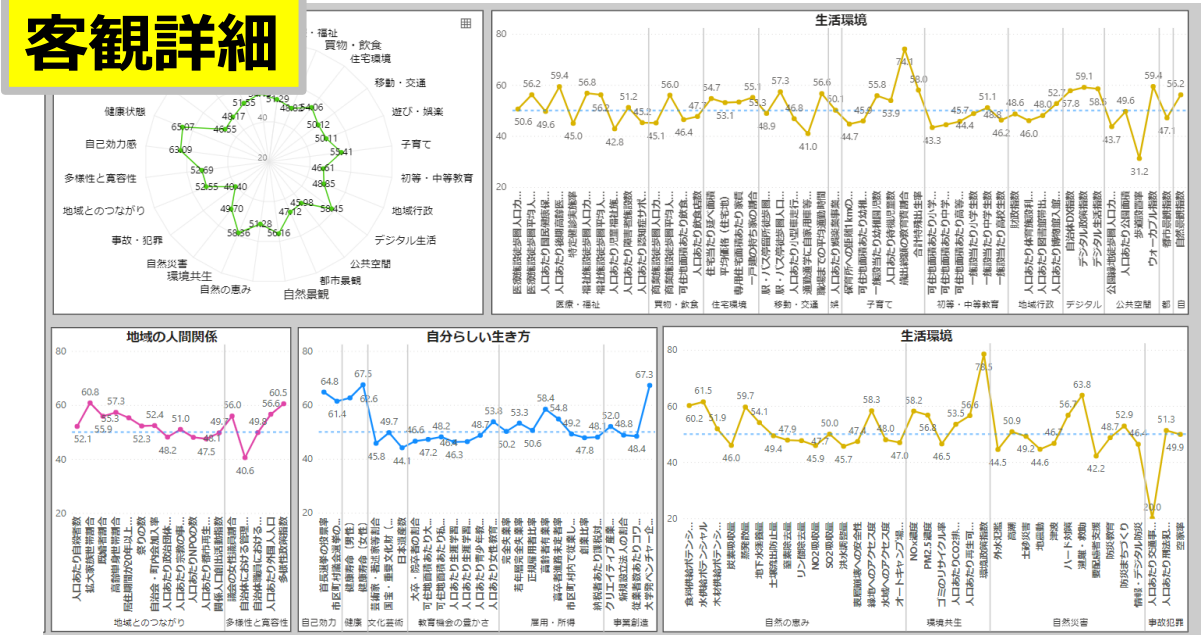
因子別



主観詳細

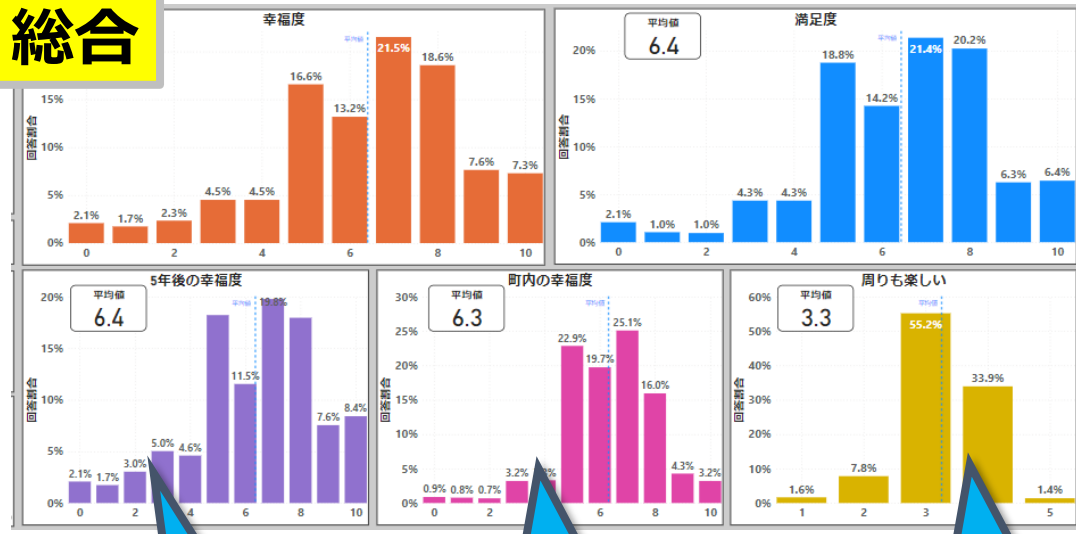


客観詳細

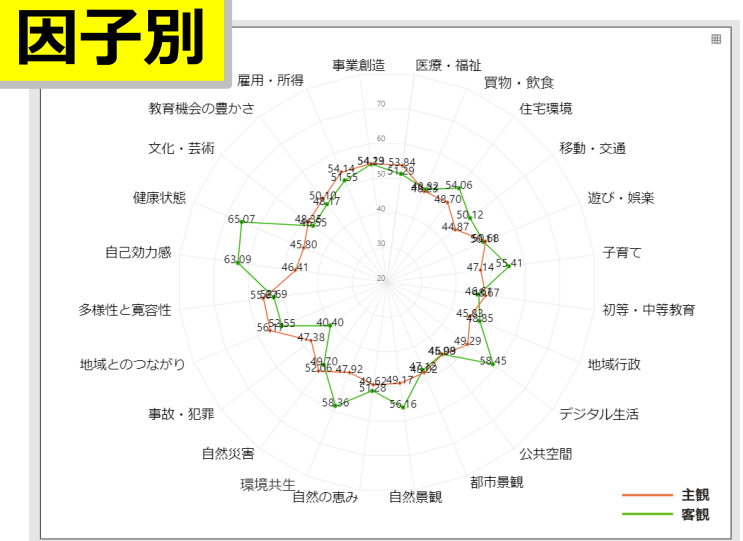


ダッシュボード全体像 ～ 4つの画面が用意されている

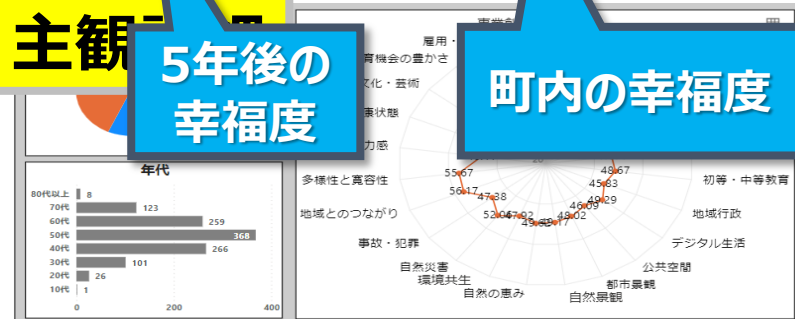
総合



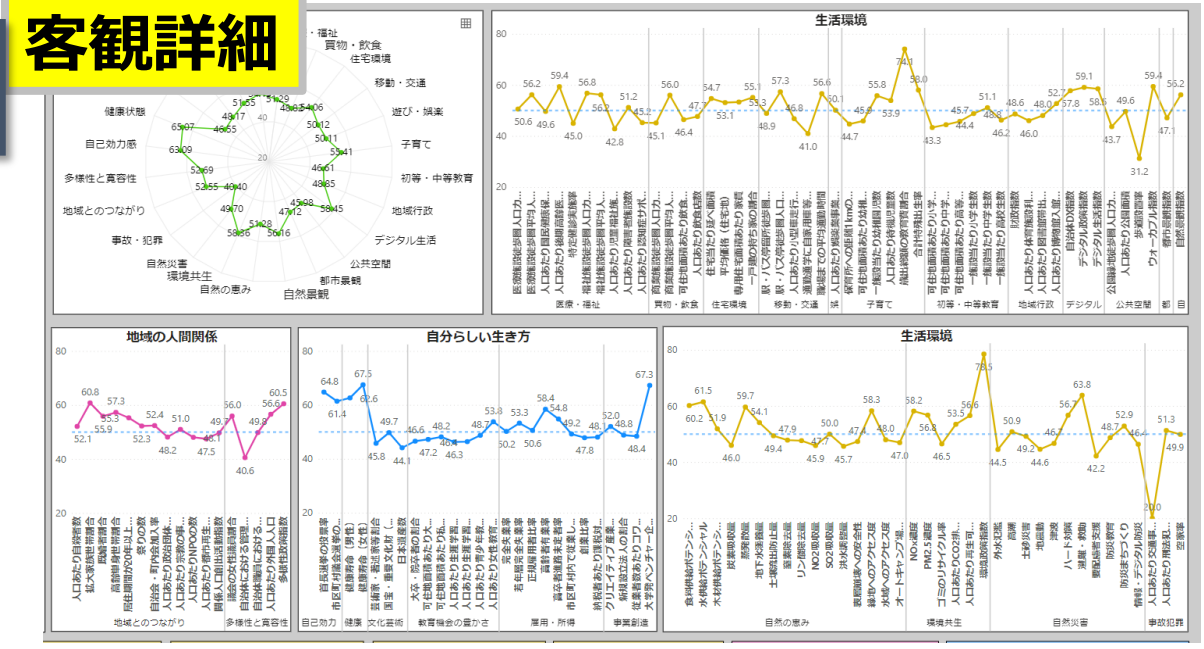
因子別



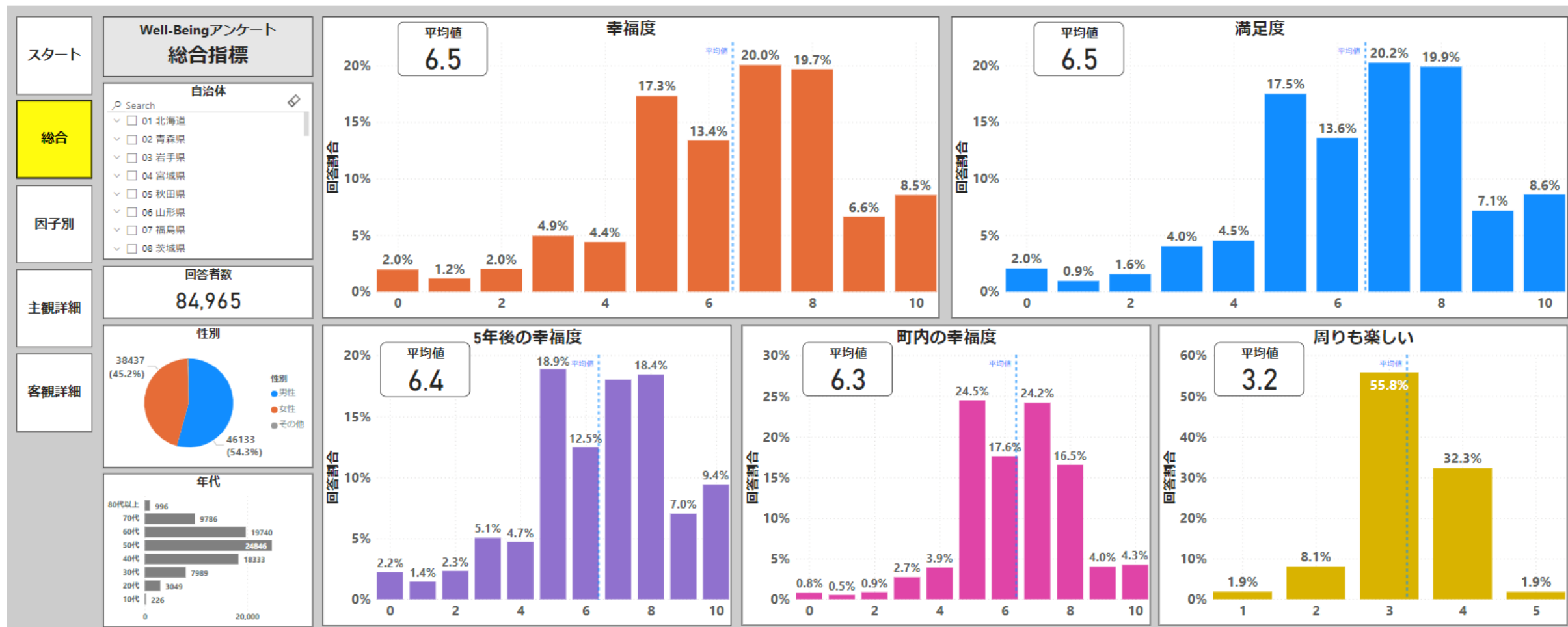
主観



客観詳細

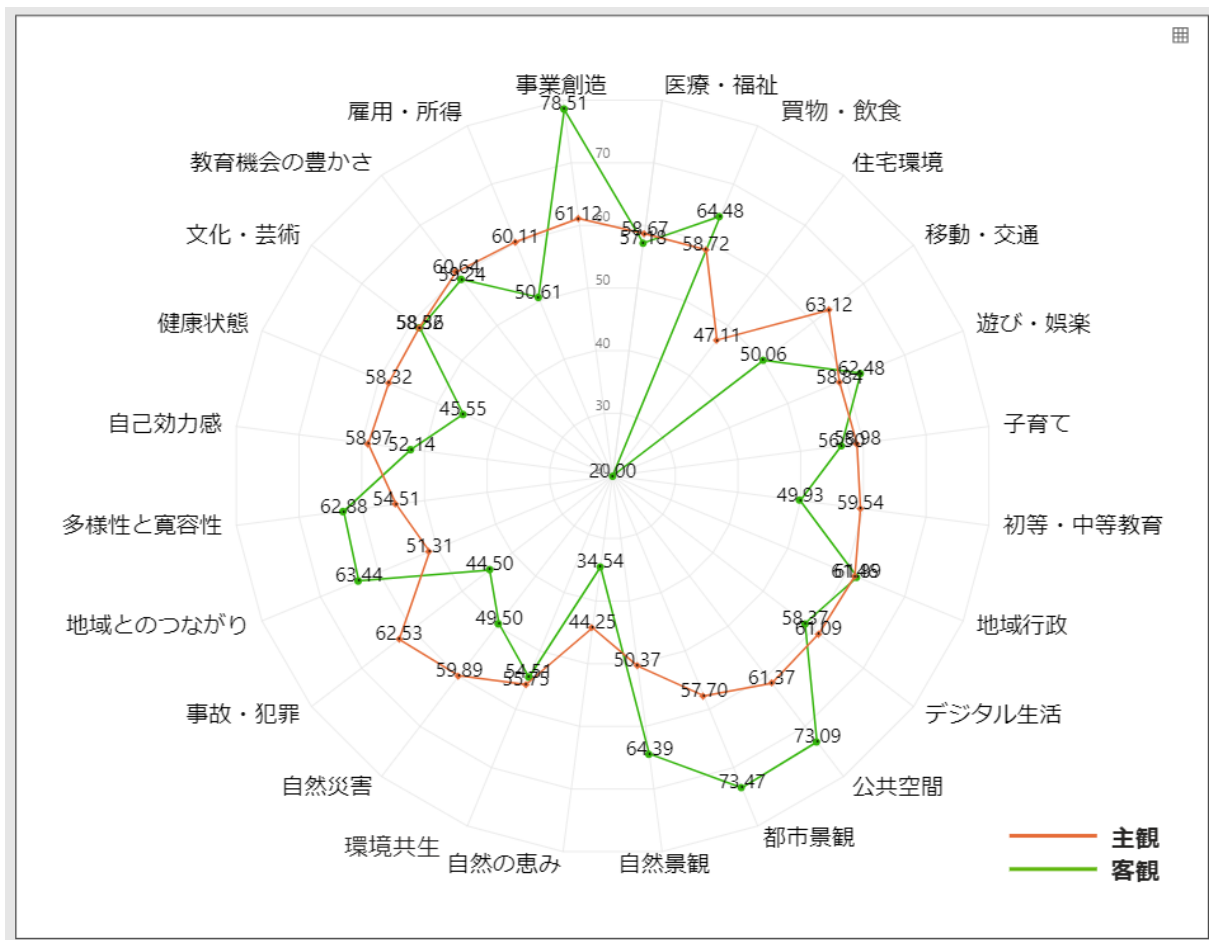


「総合指標」のダッシュボード画面 ～ 日本全体の例

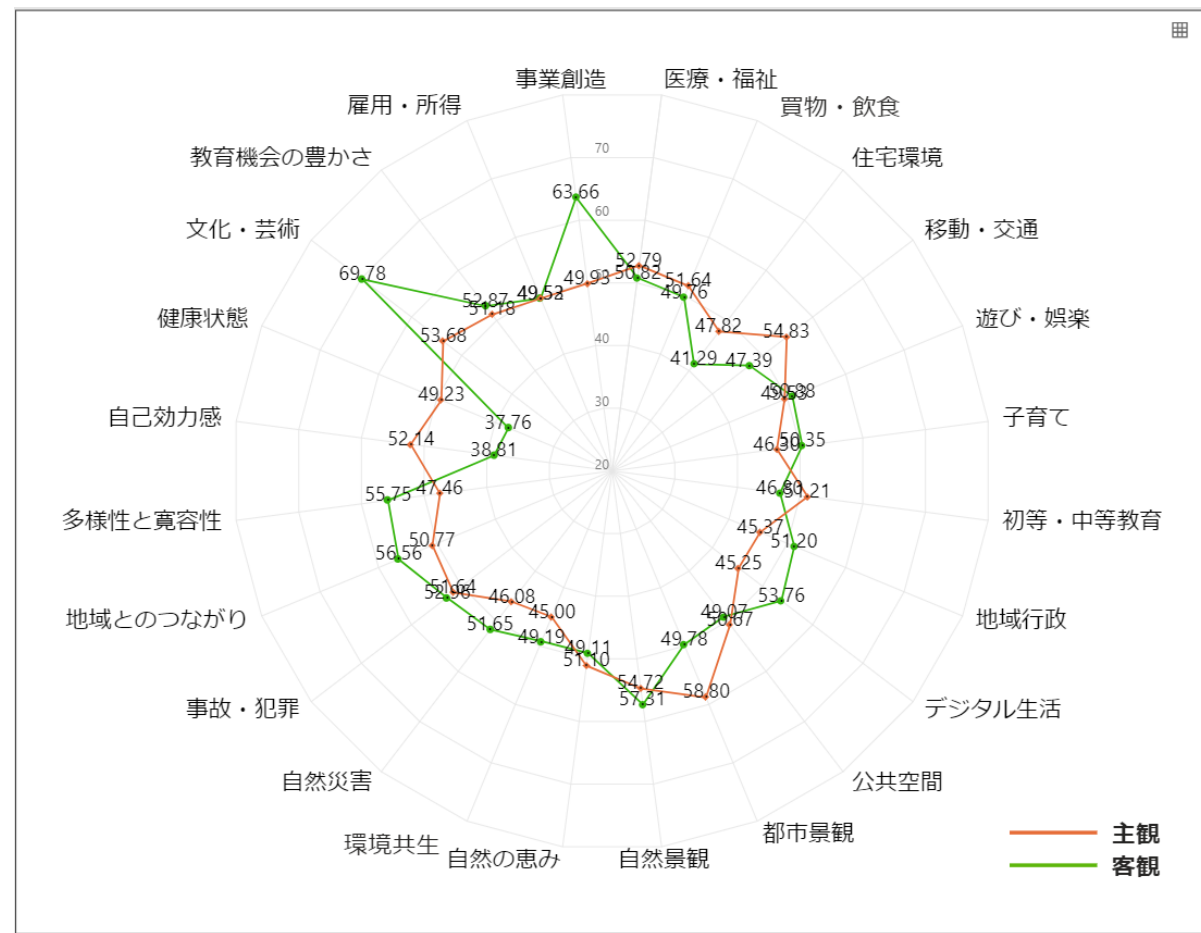


「因子別」のダッシュボード画面 ～ 地域による個性がわかる

東京都

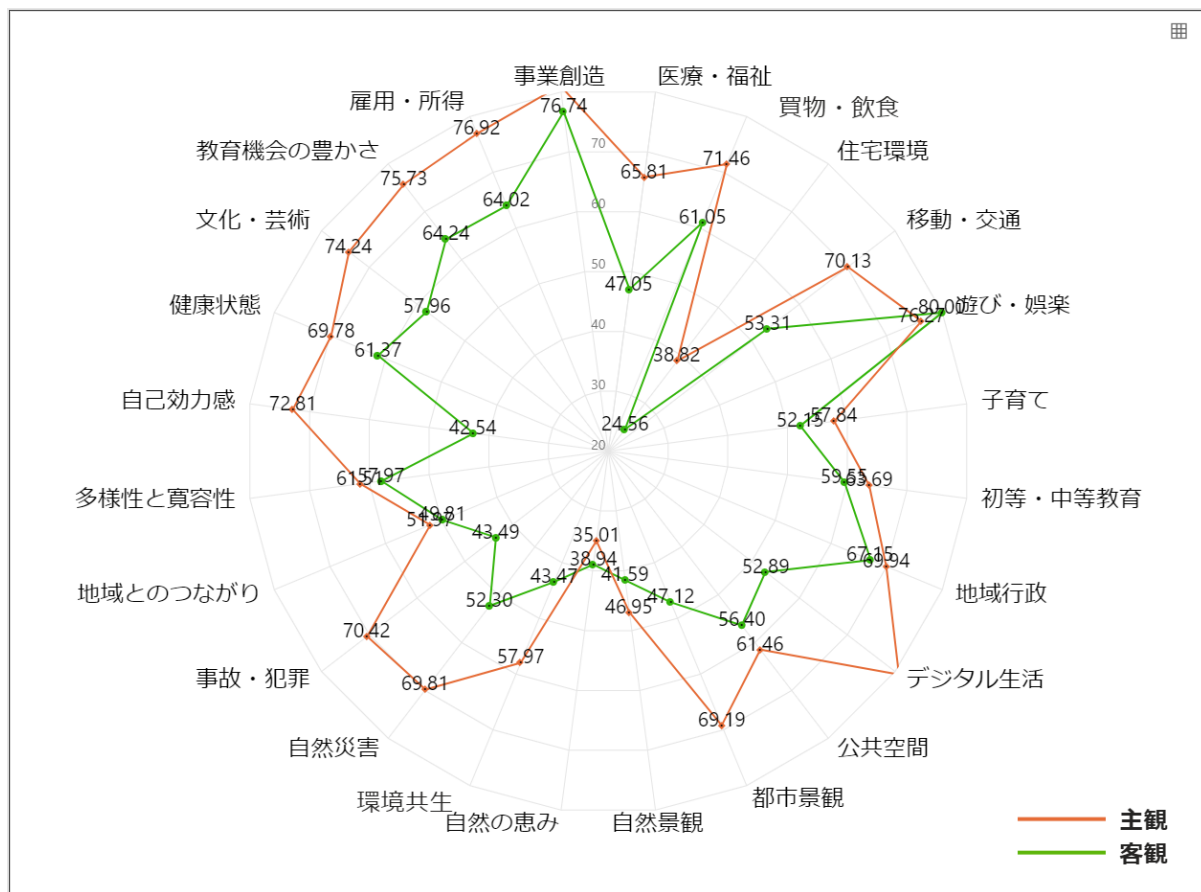


京都府

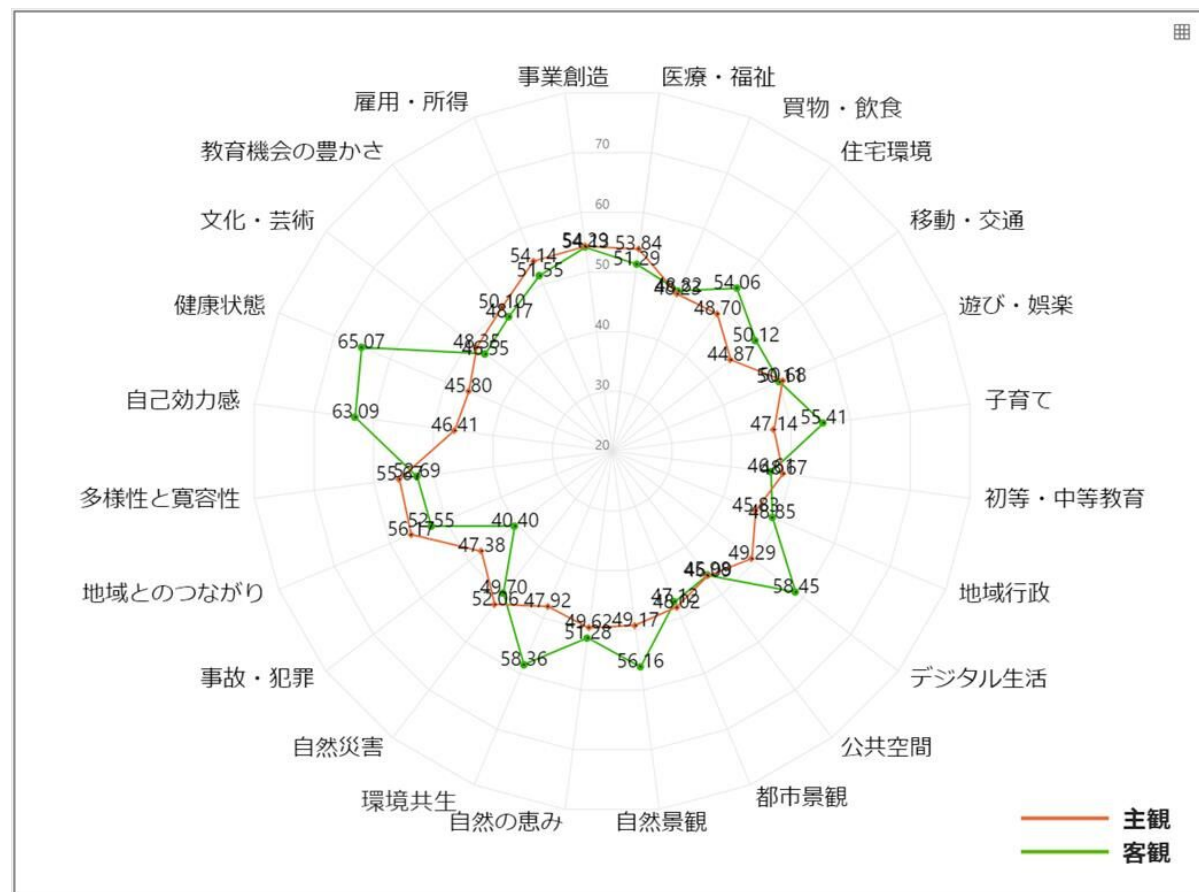


「因子別」のダッシュボード画面 ～ 地域による個性がわかる

渋谷区

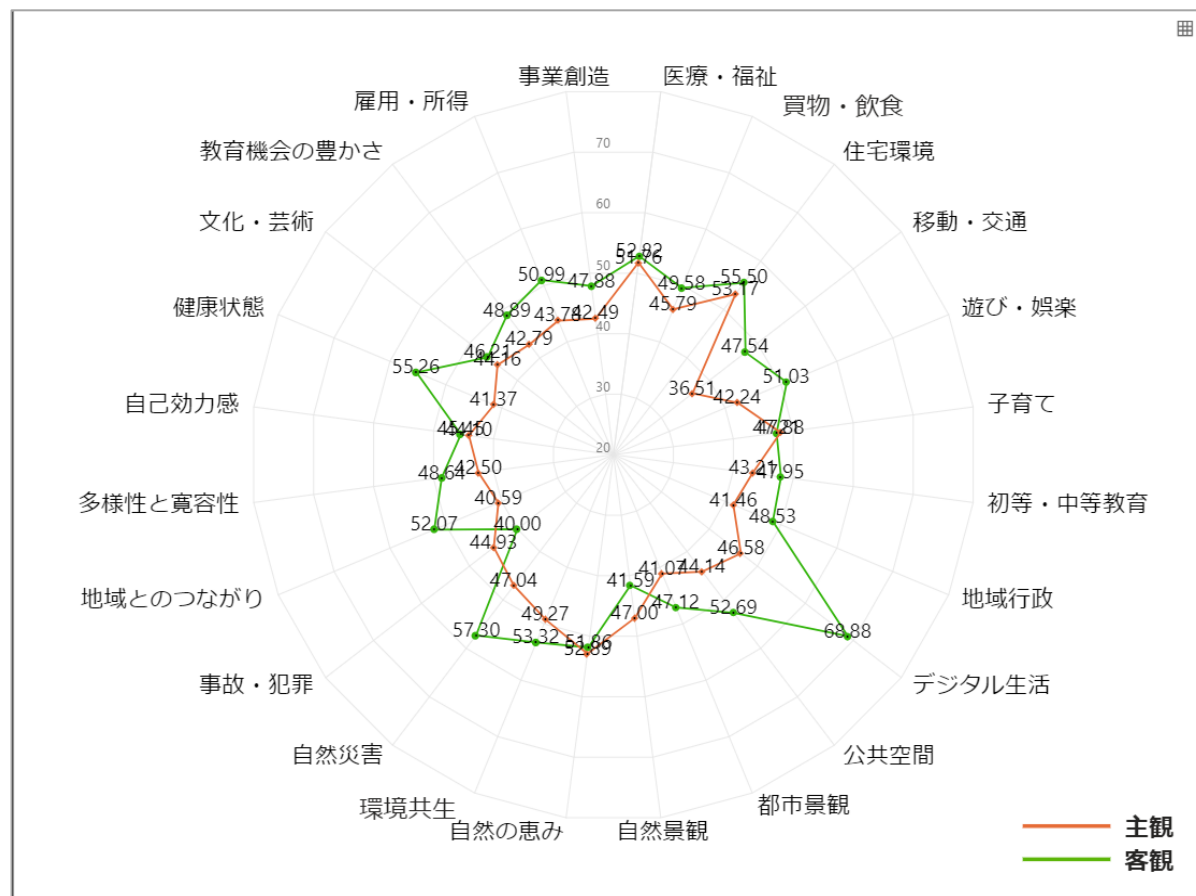


浜松市

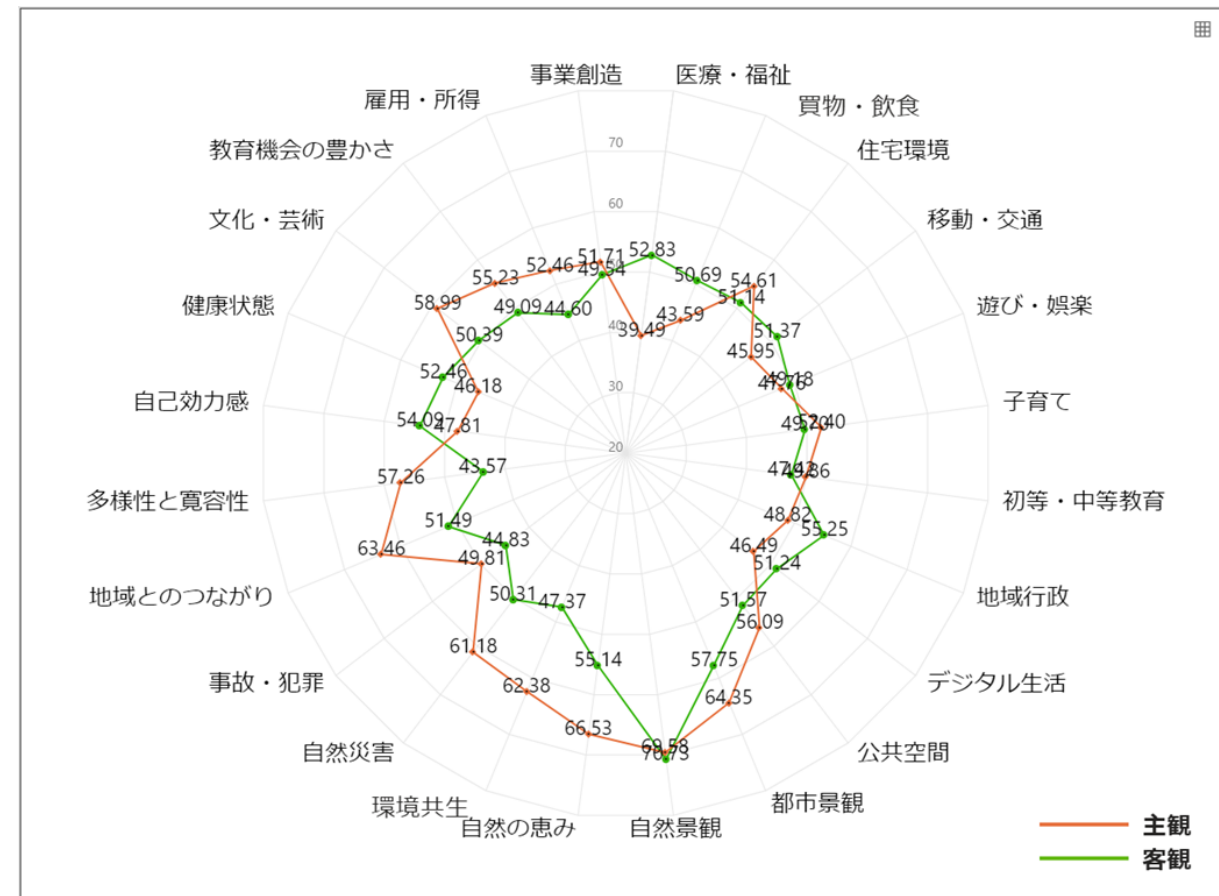


「因子別」のダッシュボード画面 ～ 地域による個性がわかる

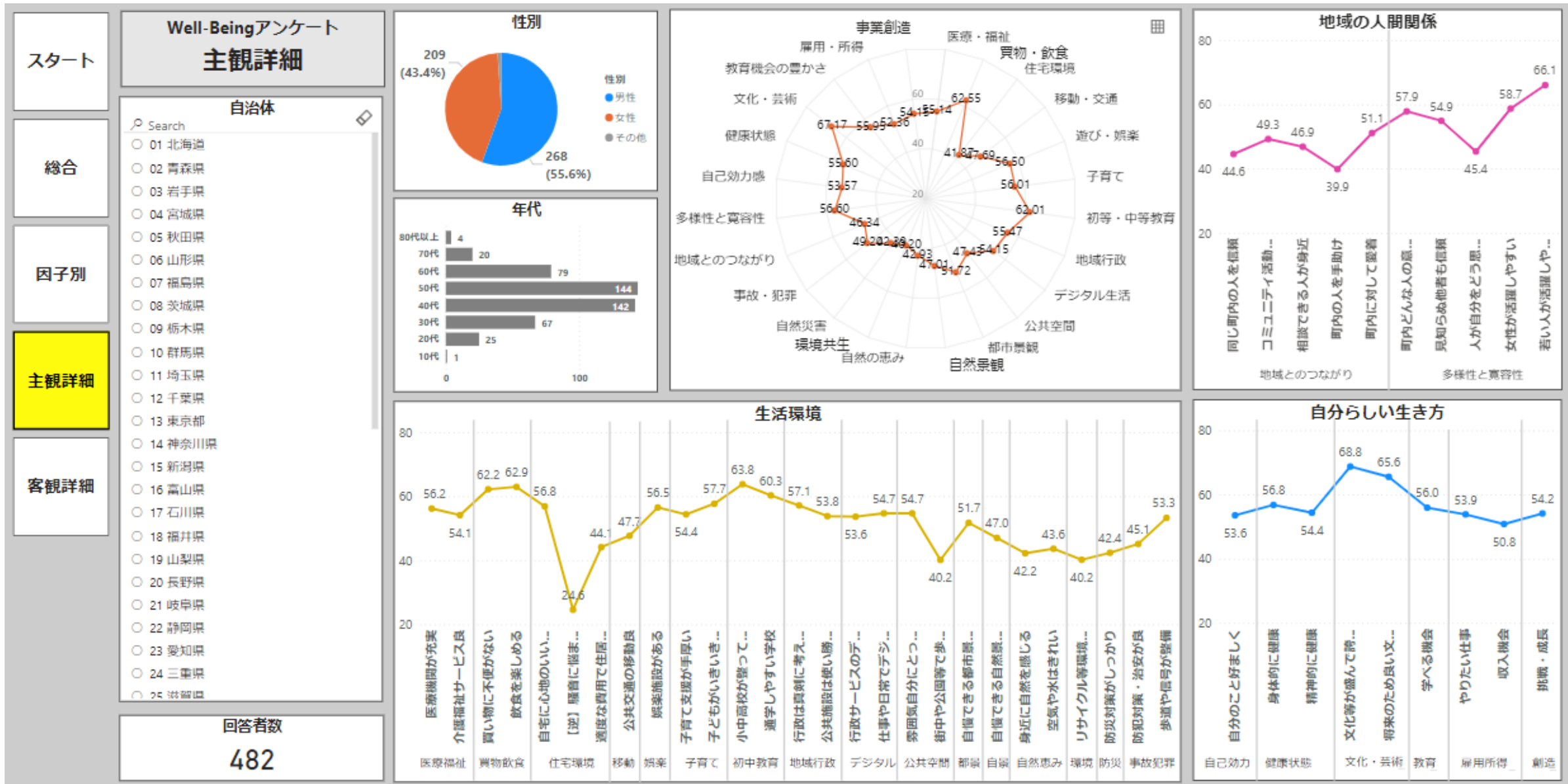
前橋市



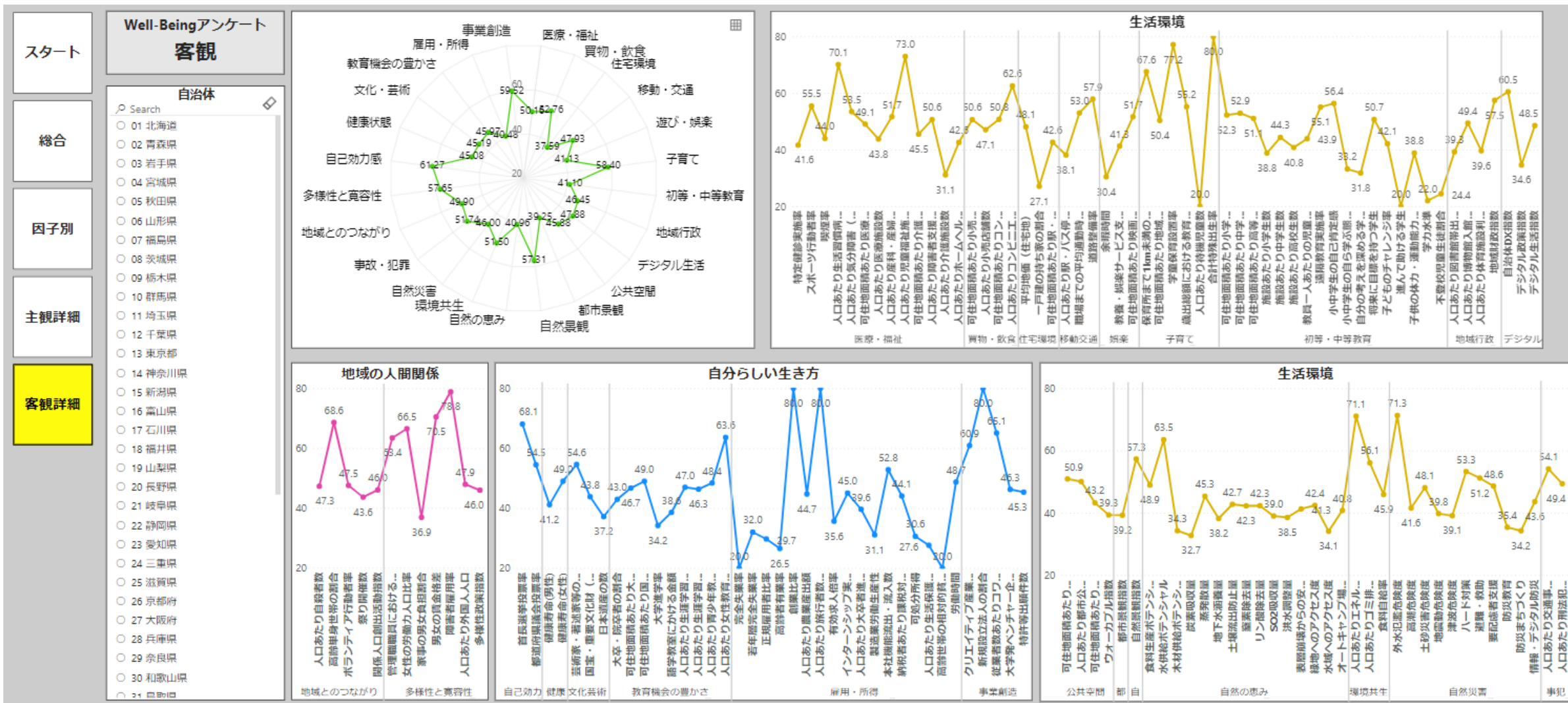
三島市



「主観詳細」のダッシュボードの画面

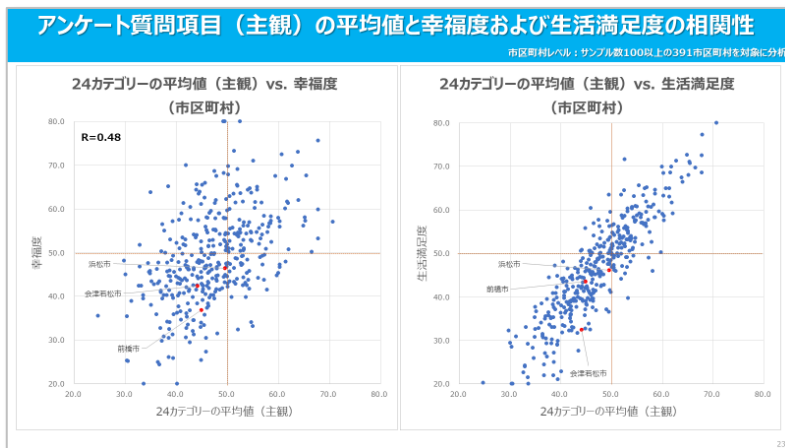


「客観詳細」のダッシュボードの画面

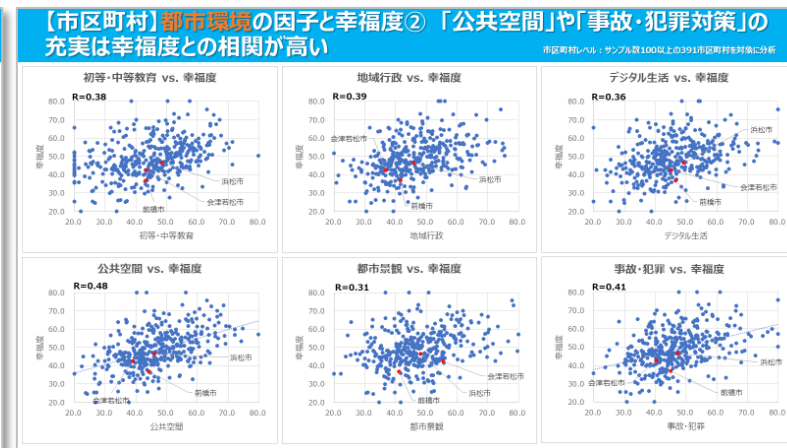
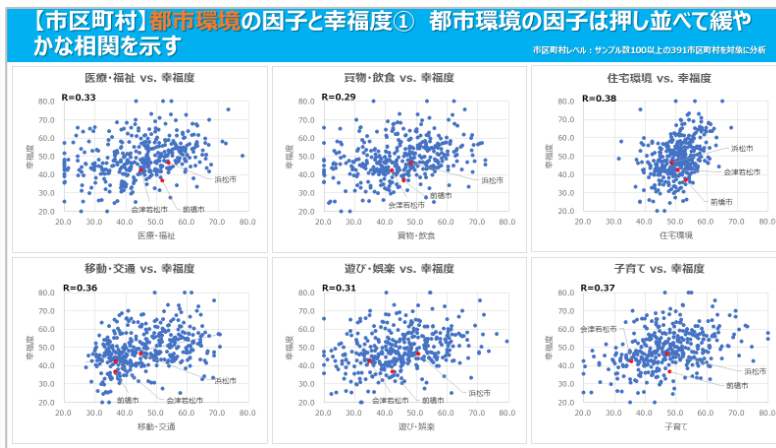


幸福度や生活満足度と24の因子（アンケートカテゴリー）の相関分析等から、幸福度や生活満足度に関係性の深い因子の確認を実施

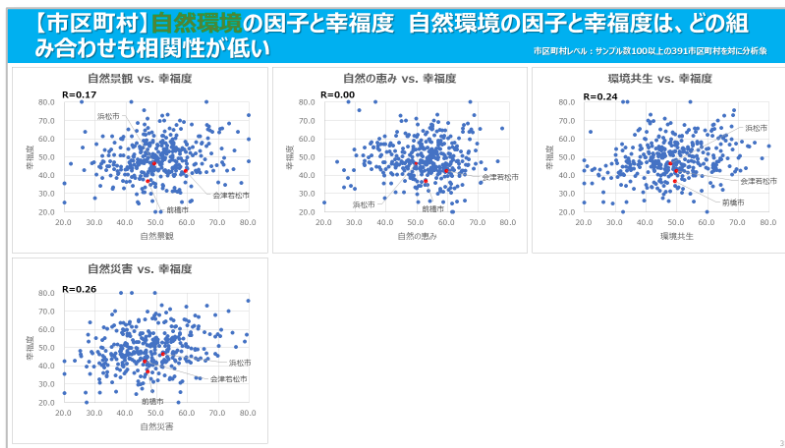
【幸福度・生活満足度と24因子の相関性】



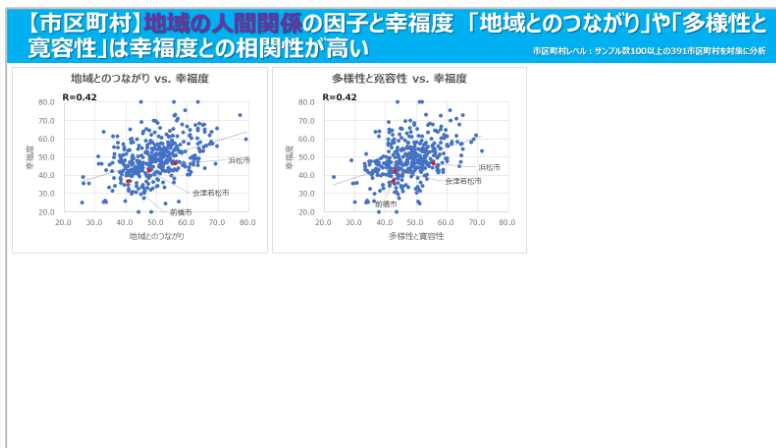
【幸福度と都市環境の因子の相関性】



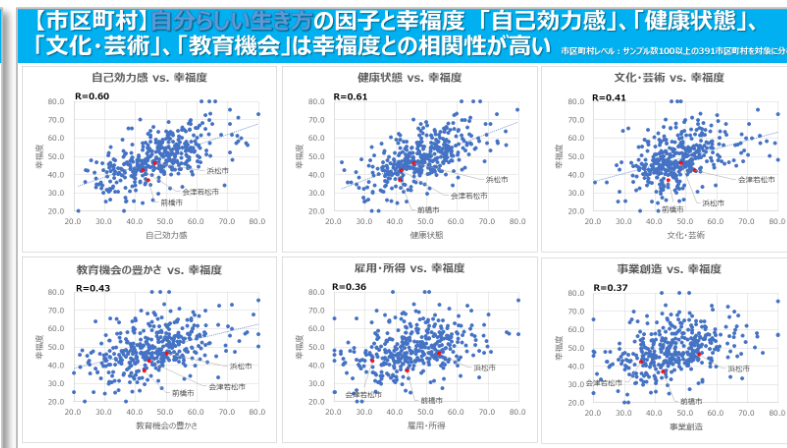
【幸福度と自然環境の因子の相関性】



【幸福度と地域の人間関係の因子の相関性】



【幸福度と自分らしい生き方の因子の相関性】



【ウェルビーイングの概念や指標・利活用プロセスについてのテキスト】

Ver.2023-01

地域幸福度(Well-Being)指標 利活用ガイドブック

2023年6月

デジタル庁
一般社団法人スマートシティ・インスティテュート

本指標は、デジタル田園都市国家構想の実現に向け、活用することを目的としています。自治体間の優劣の比較やランキング付けなど、目的外での利用は厳に慎んで下さい。

地域幸福度(Well-Being)指標利活用ガイドブック 目次

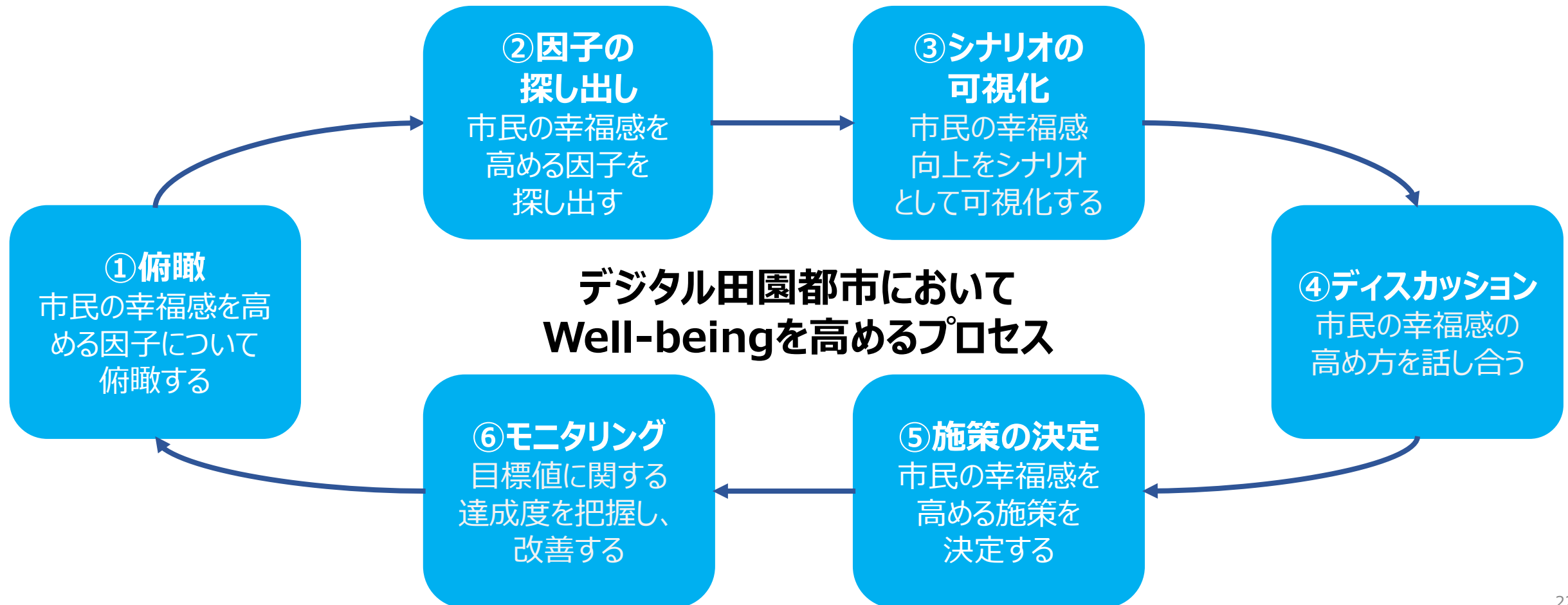
- 1. デジタル田園都市国家構想におけるWell-beingとは
 - [デジタル田園都市国家構想で目指すもの](#)
 - [市民のWell-being向上に向けた指標の活用](#)
- 2. 地域幸福度(Well-Being)指標の考え方について
 - [地域幸福度\(Well-Being\)指標の開発起点と狙い](#)
 - [地域幸福度\(Well-Being\)指標の基本概念](#)
 - [地域幸福度\(Well-Being\)指標の導入目的](#)
 - [地域幸福度\(Well-Being\)指標の構成](#)
 - [地域幸福度\(Well-Being\)指標を活用したスマートシティのロジックモデル](#)
 - [地域幸福度\(Well-Being\)指標の全体構成図](#)
 - [地域における幸福度・生活満足度を、まちに関する主観・客観評価から俯瞰する](#)
 - [地域幸福度\(Well-Being\)指標の因子群とカテゴリー](#)
 - [地域幸福度\(Well-Being\)指標 ～ 偏差値](#)
 - [地域幸福度\(Well-Being\)指標 ～ アンケート調査](#)
 - [主観指標のカatalog<市区町村版・都道府県版 共通>](#)
 - [主観指標のアンケート調査設問一覧](#)
 - [暮らしやすさ客観指標のカatalog<都道府県版>](#)
 - [暮らしやすさ客観指標のカatalog<市区町村版>](#)
- 3. 地域幸福度(Well-Being)指標活用の手順 (フロー)
 - [地域幸福度\(Well-Being\)指標活用の手順 \(フロー\)](#)
- 4. 参考となるユースケース
 - ①市民の幸福度を高める因子について俯瞰する
 - ②市民の幸福度を高める因子を探し出す
 - ③市民の幸福度向上をシナリオとして可視化する
 - ④市民の幸福度の高め方を話し合う
 - ⑤市民の幸福度を高める施策を決定する
 - ⑥モニタリング・発展させる
- 4. 参考となるユースケース
 - 事例① 浜松市
 - 事例② 会津若松市
 - 事例③ 加古川市
 - 事例④ 非営利活動法人ADDS
 - 事例⑤ 株式会社カヤック
 - 事例⑥ 広域自治体
 - 事例⑦ 東京海上日動火災保険株式会社
- Appendix
 - [KPIの定義書・出典元](#)
 - [比較対象自治体の導出方法](#)
 - [市民意識調査を併用した、LWC指標事例](#)
 - [LWC指標からの改定経緯](#)

問い合わせ先

2

ガイドブックで、地域幸福度(Well-Being)指標活用の手順等を説明

- まず、データを基に市民の幸福の因子を探索します。市民を軸に置き、幸福の因子に関連する施策や効果等を整理し、シナリオとして可視化することで、これまで見えてこなかった課題やニーズを把握できます。次に、対話を基に施策に関する多数のアイデアを出し、その施策を評価するための指標を設定します。



地域幸福度指標の活用を推進する為には、庁舎内の関係者の理解を得ることが重要

浜松市

■ 浜松市では地域幸福度指標を活用したワークショップ・勉強会を複数回開催しました。

2022/5月 南雲フェローを講師に招き、地域幸福度指標の活用に関する勉強会を開催。LWC指標を俯瞰し、因子の関係性を議論。

2022/6月～ 関係課職員による庁内ワークショップを複数回開催。

2022/7月～ 地域幸福度指標の市政への活用について、鈴木市長が講演（SCI-Japan フォーラム@日経ホール、ウェルビーイング連続フォーラム@京都大学）。

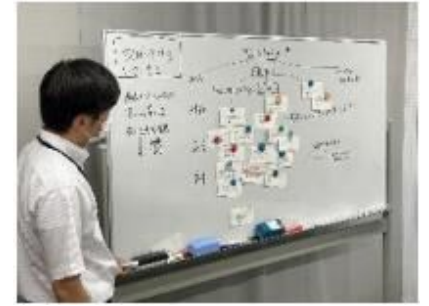
2022/9月 浜松市独自アンケートを実施（1,805サンプル回収）。

2022/10月 Code for Japanの協力の下、官民連携PFの会員とDecidimを活用したワークショップを実施。グループワークで、幸せの物語を作成。

2022/12月 関係課職員による庁内ワークショップを複数回開催。先行4分野における幸福のシナリオ作成に着手。

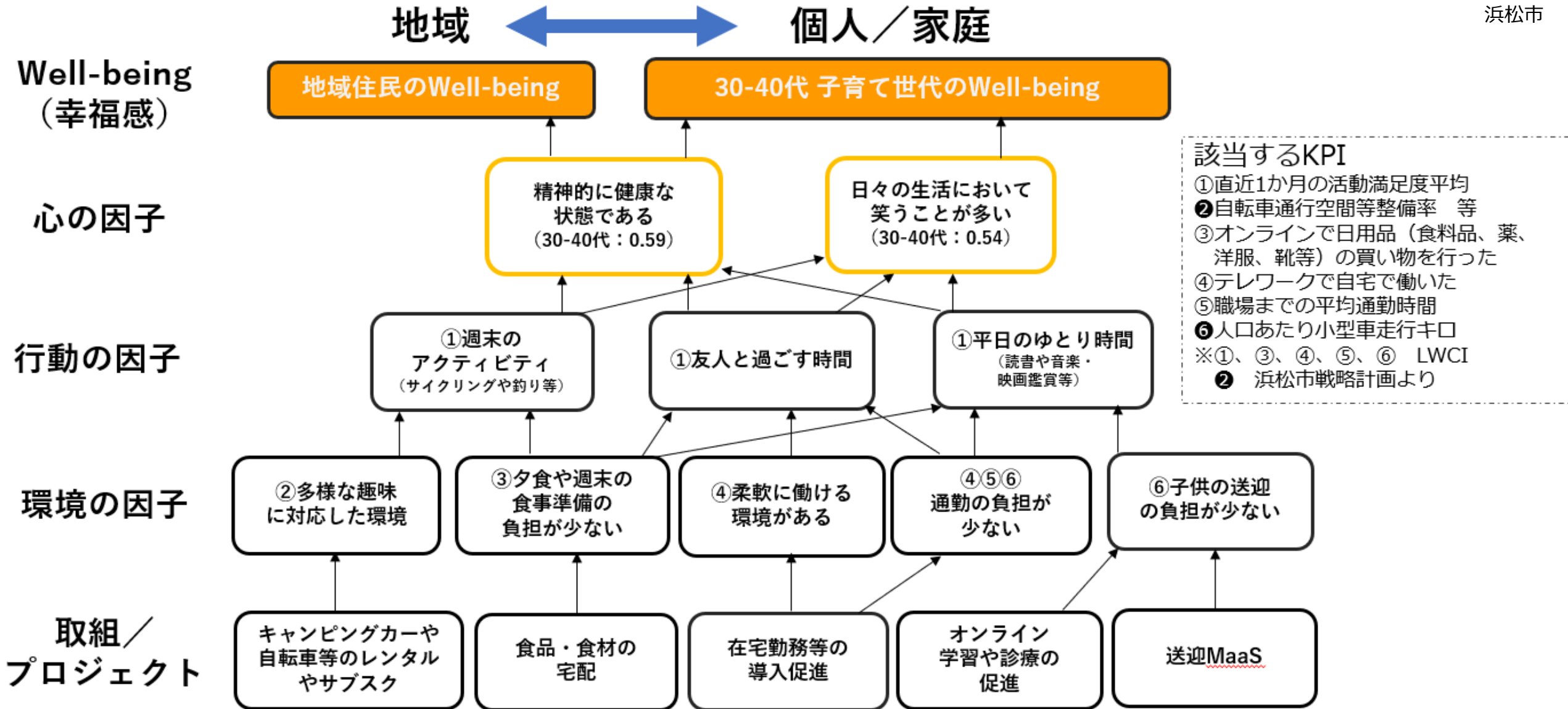
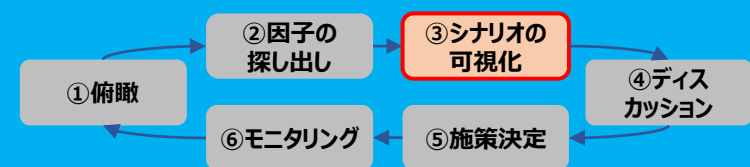
2023/2月 幸福のシナリオの作成状況に関する中間報告。先行4分野のシナリオの複数案が提示され、されに関係者で議論を重ねる。

2023/3月 Decidimにて地域幸福度指標活用の取組や、幸福のシナリオを公開。



市民像を30-40代 子育て世代、主テーマを自分時間の確保としたシナリオ例

浜松市



福島県会津若松市のケース ～ ウェルビーイング指標を活用したワークショップで、ステークホルダーと地域の個性を確認し合う

会津若松市



ワーク風景（食農グループ）



ワーク風景（ヘルスケアグループ）



会場風景



サービス紹介



サービス紹介



発表

香川県三豊市のケース ～ 市職員・市民向けに「地域の幸福のシナリオ」を検討するワークショップを実施



①ウェルビーイングについてのレクチャー
(慶応大前野研究室 井上講師)



②各因子の具体例をプレスト&集約

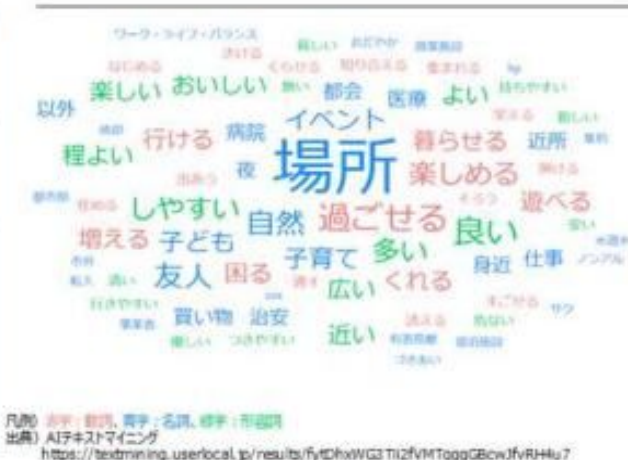


③幸福に至るシナリオをグループ内で議論



④各グループによる議論の結果の共有

出現頻度マッピング



凡例 赤字：動詞、青字：名詞、緑字：形容詞
 出典) AIテキストマイニング
<https://textmining.userlocal.jp/results/fyIDhwG3Tiz2VM7oggGBowJfVRH4u7>

出現頻度上位15単語 (品詞別)

動詞		名詞		形容詞	
単語	出現回数	単語	出現回数	単語	出現回数
過ごす	4	場所	13	良い	4
楽しめる	3	自然	4	しやすい	3
賑わらせる	2	友人	4	多い	3
遊べる	2	子育て	3	穏やかな	2
知る	2	子ども	2	広い	2
増える	2	イベント	3	お洒落	2
行ける	2	治安	2	近い	2
くれる	2	医療	2	賑やかな	2
出会う	1	身近	2	よい	2
くらす	1	都会	2	持続しやすい	1
なめる	1	近所	2	つまやまい	1
すごせる	1	買い物	2	薄	1
知り合える	1	病院	2	賑やかな	1
増える	1	以外	2	行きやすい	1
集まれる	1	夜	2	危ない	1

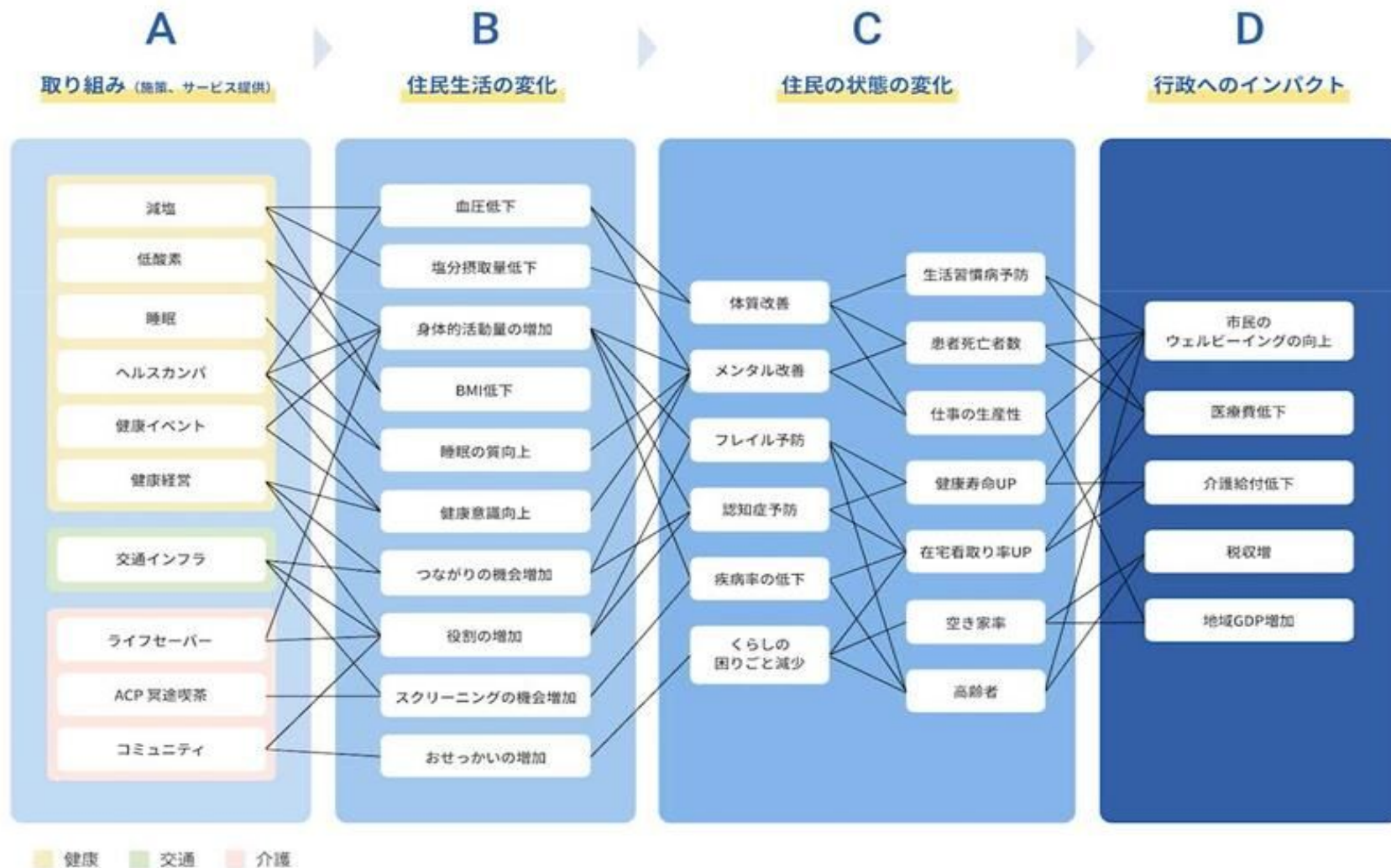


- ✓ 三豊市の特徴についてグループでプレストし、付箋に記載
- ✓ 付箋をLWC指標「地域生活のWell-Being」の因子ごとにグルーピング

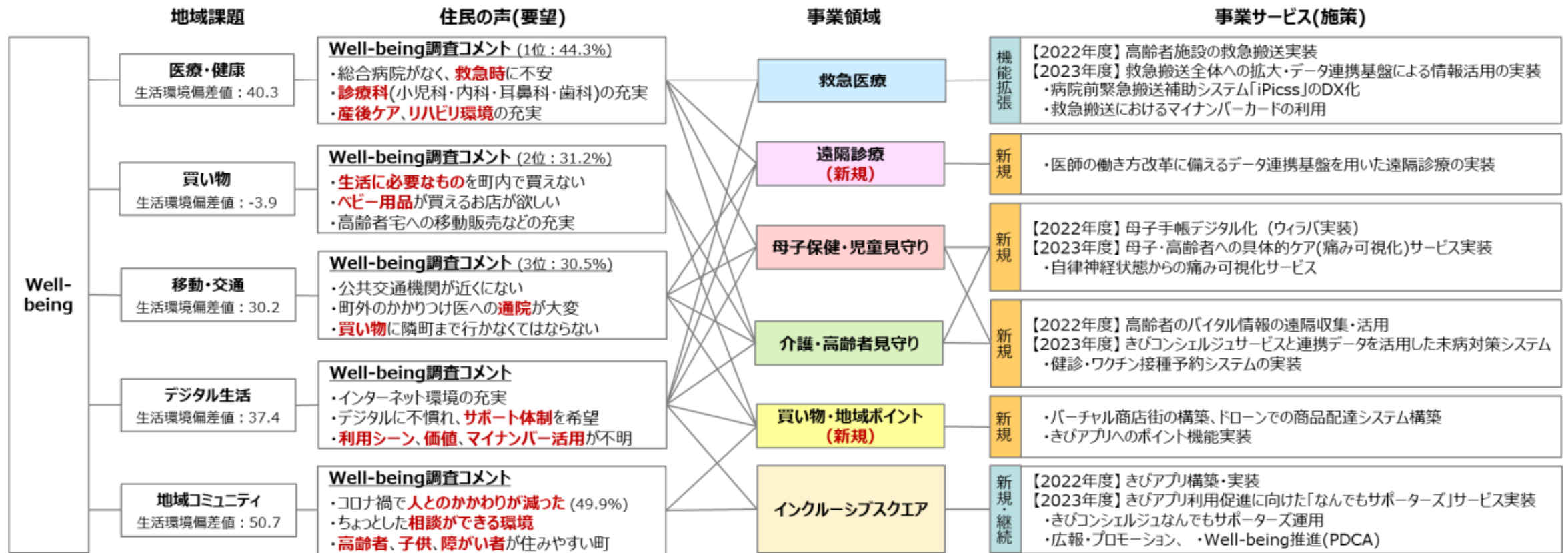
※参考：市職員向けWSのプレストの結果から、テキスト分析により特徴的な単語を抽出
 ✓ 名詞では「自然(因子_自然の体感)」「友人(因子_つながりと感謝)」「子育て・子ども(因子_生活の利便性)」という単語が多く、これらの因子の重要性が高い可能性がある
 (「場所」は「○○な場所」という用途で使用されるため最頻出となる)

香川県三豊市のケース ～ ロジックツリーの作成

ロジックツリーを作成し、市民のWell-being向上のために必要な「取組み」と「効果」を可視化



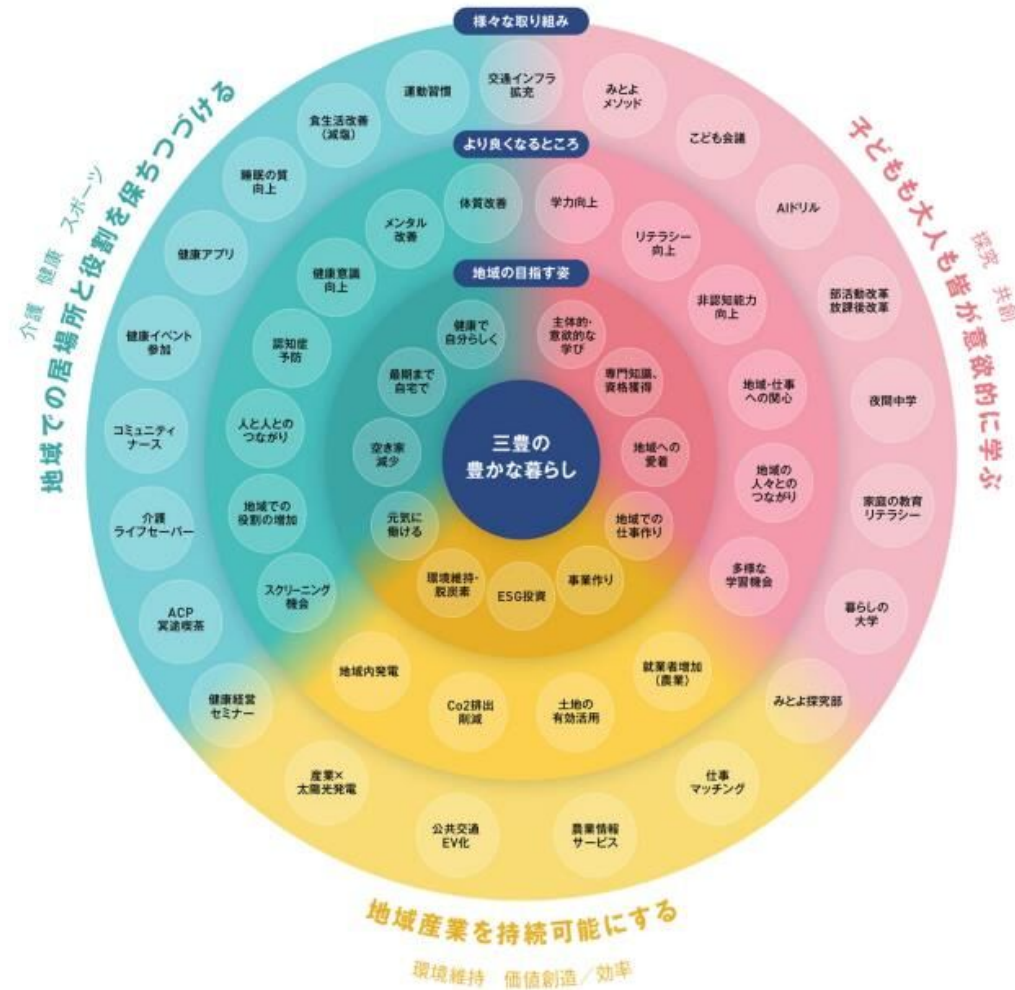
Well-beingの調査結果から来年度事業の施策を討議・決定



※生活環境偏差値：Well-Being指標に基づき、オープンデータから地域の生活環境を偏差値で表したものである

香川県三豊市のケース ～ 市民や企業向けに「三豊未来マップ」を作成

市民や企業が、三豊の目指す「将来のありたい姿」と、それを実現する取組みを確認できる
三豊未来マップを作成



群馬県前橋市のケース ～ コンセプトをポスター形式で可視化



本資料のご活用に向けて

- 本資料は、信頼できると思われる各種公開情報・オープンデータ等に基づいて作成されていますが、当法人はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に基づくご利用者様の決定、行為、及びその結果について、当法人は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、ご利用者様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所：一般社団法人スマートシティ・インスティテュートと明記してください。